

## 御 挨拶

合唱団理事

今宵は、私達山梨大学合唱団の定期演奏会に多数御来聴下さいまして、有難うございます。

分離唱を通じ、合唱のすばらしさを、そして音楽の喜びを知った私達は、佐々木先生の御指導のもと一人でも多くの方に分離唱のすばらしさを、また音楽の心を知っていただき、共にこの喜びを分かち合いたい。そんな願いをこめて歌い続けてまいりました。

合唱は耳から感じ、心で歌うものです。分離唱から生まれるハーモニーの中で、一人一人の心を一つに歌の心を感じる時、いつでも、どこでも、誰とでも、私達は、心の底から音楽を楽しむことができるものと信じております。今夜演奏する小曲の数々、ケルビーニのレクイエム、これら一曲一曲の心を感じるまま、素直に表現できましたら幸いです。どうぞ、ごゆっくりお聞き下さい。

最後にこの演奏会に御協力下さいました皆様に深く感謝いたします。

## 御 挨拶

合唱団顧問

例年のことながら、南アルプス連山が新雪を抱くころになると、定演のプログラムに何か一言……と頼まれて大いに弱る。そんなに毎年変わった事を書けるはずもない。……と思ひながら時折練習を覗いてみる。今年は比較的頻繁に練習を聴かせてもらったし、夏合宿では、たまたま一緒に歌ったこともあった。そのせいか、今年の団員諸君とはもう随分長いつきあいのような気がするし、レパートリーも何年も前から聴いているような錯覚に陥ることがある。聴き手の方でも少々マンネリになってきたかな……と反省しつつ、プログラムを開いてみると、〓しじみ売りの娘、〓O Holly night、のような全く新しい曲目がならんでいる。ここはひとつすっかり心を入れかえて、定演では、はじめて聴くような気持ちで、梨大合唱団の新しいとりくみを、じっくり聴きたいものだと思ひなおした。多くの聴衆の方々とともに、どんな合唱を聴かせてもらえるか、大いに楽しみにしている。

## 御 挨拶

常任指揮者 佐々木 基之

梨大合唱団と私は切っても切れない仲となってしまった。私の生涯はこの合唱のために迎ってきたように思えてなりません。そして六年が過ぎようとしています。

毎年春と共に去ってゆく何名かの人達との別れの辛さも、新しい顔を見ていると河の流れそのままに……春合宿、夏合宿を経て、定演、東京公演と楽しいことが続きます。来春は、先輩の秋田重夫君の尽力で御殿場市民会館で公演させてもらえることになりました。思えば六年前の秋、彼は梨大の指揮者として山形まで、南高校OB合唱団の演奏会を聴きに来ました。花束を贈ってくれた彼がステージの上でしっかりと私の手を握って、「先生、僕は初めて本当の合唱を聴きました。」と言ってくれたことがきっかけとなって梨大合唱団と私の縁が結ばれたのでした。

学生指揮者の分離唱指導もすっかり板について、私は指揮者の位置に立っているだけで皆様と共に楽しい一時を過せることを心から感謝しております。

## 山 梨 大 学 合 唱 団

### ◆第6回東京公演

1978年12月17日(日) P,M 2:00

上野学園内 石橋メモリアルホール(上野駅浅草口)

### ◆静岡公演

1979年3月4日(日) P.M 2:00

静岡県御殿場市民会館

<sup>1</sup>  
佐々木基之著

「耳をひらく」——人間づくりの音楽教育——

音楽によって万人を幸福へ導く独特の教育法を創案した著者が“分離唱”の指導法を述べる。音楽早期教育に悩むお母さんや、音楽大学生にとっても福音の書であり、音楽に関心のない人も楽しく読める。(1,600円 予200円)

〒102 東京都千代田区1番町9

TEL 03-263-2940 振替 東京 0-33724 柏樹社

(梨大合唱団でも、お取次ぎいたします。)